

西臼杵地域の普及活動（普及活動月報）

令和7年12月 西臼杵支庁
(西臼杵農業改良普及センター)

目次

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

- 1 【五ヶ瀬町】(株)宮崎茶房が「農林水産祭」農産・蚕糸部門で内閣総理大臣賞を受賞

II 主な普及指導活動等の取組み

プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：集落営農等サポート体制、担い手の確保、規模拡大、6次産業化 等]

[専門：ミニトマト、キンカン、ラナンキュラス、りんどう]

- 1 【全域】西臼杵SAP冬期大会の開催
 - 2 【高千穂町】青年等就農計画見直し検討会
 - 3 【五ヶ瀬町】農業経営改善計画認定申請に向けた支援
 - 4 【全域】就農相談会の開催
 - 5 【高千穂町、五ヶ瀬町】イタリアンライグラス立毛間播種ほ場の生育調査
 - 6 【全域】定期巡回の実施
 - 7 【管内】高千穂高校への茶の授業を実施
 - 8 【全域】西臼杵烏龍茶研究会の研修会が開催
 - 9 【高千穂町・日之影町】きんかん全戸巡回の実施
 - 10 【管内】高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第9回）の開催
 - 11 【管内】高千穂地区営農振興協議会花き部会（第9回）の開催
 - 12 【高千穂町・日之影町】きんかんの果実分析を実施
 - 13 【管内】高千穂地区営農振興協議会花き部会・野菜部会合同先進事例調査
-
- 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動)
 - 1 【五ヶ瀬町】五ヶ瀬町ぶどう生産組合の出荷反省会が開催

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【五ヶ瀬町】(株)宮崎茶房が「農林水産祭」農産・蚕糸部門で内閣総理大臣賞を受賞

10日、(株)宮崎茶房の宮崎亮代表取締役と松本尚紘取締役が県庁を訪問され、令和7年度の農林水産祭(令和7年11月23日開催)農産・蚕糸部門で、内閣総理大臣賞受賞の報告のため、河野知事を表敬訪問されました。

宮崎茶房は、昭和58年から無農薬・無化学肥料による茶の栽培を開始し、平成13年には地域に先駆けて有機JAS認証を取得され、生産・加工・販売までのモデル的な一貫経営の実践と国内では生産が難しいと言われた「烏龍茶」などの製造や、女性の経営参画を積極的に実践する姿勢など高く評価されました。

表敬では、今回の受賞に至った経緯と受賞について知事に報告した後に、新しく開発した香り高いほうじ茶を知事に飲んでいただきました。

また、12日には、五ヶ瀬町内において祝賀会が行われ茶業関係者と共に受賞を祝いました。



【宮崎社長(右)と松本取締役(左)が河野知事を表敬】

II 主な普及指導活動等の取組み

プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動

[総合：集落営農等サポート体制、担い手の確保、規模拡大、6次産業化 等]

[専門：ミニトマト、キンカン、ラナンキュラス、りんどう]

1 【全域】西臼杵SAP冬期大会の開催

2日、西臼杵支庁において、SAP会員11名が参加し標記大会を開催しました。県SAP会議事務局長や農業経営指導士、JAみやざき高千穂地区本部、宮崎県農業共済組合北部センター西臼杵支所の担当を来賓に迎え、日之影町及び五ヶ瀬町のSAP活動の取組報告のほか、日之影町SAP会議の久保優一さんから「草刈りの省力化を目的としたセンチピードグラスの栽培試験」と題し、プロジェクト発表が行われました。

農業経営指導士からは、プロジェクトの課題設定の評価と併せ、試験設計に関するアドバイスをいただきました。

また、発表終了後には、西臼杵支庁林務課から「鳥獣保護管理法・外来生物法について」についての研修も行われ、有意義な大会となりました。



【西臼杵SAP冬期大会】

2 【高千穂町】青年等就農計画見直し検討会

10日、普及センターにおいて、高千穂町役場、JAみやざき高千穂地区本部の担当と共に、高千穂町の認定新規就農者1名(大玉トマト、和牛繁殖、椎茸)の青年等就農計画の見直しについて検討会を行いました。

また、16日には、町担当者と共に、経営収支計画書作成の支援を実施し、25日には中古ハウス資材の現地調査を支援しました。

今後も関係機関と連携し、引き続き支援していきます。



【中古ハウス資材の現地調査】

3 【五ヶ瀬町】農業経営改善計画認定申請に向けた支援

10日、五ヶ瀬町において、新規で認定農業者を希望している生産者を町担当者と共に訪問し、農業経営改善計画認定申請の内容確認を行いました。

また、24日には、町担当者と今後の経営収支計画書作成の支援を行いました。

今後も町担当者と共に、認定農業者の育成支援を行っていきます。



【農地等の確認】

4 【全域】就農相談会の開催

就農を希望する相談者5名に対し、各町担当者和びJAと共に、以下の支援を行いました。

- ・高千穂町1名（希望品目：水稻、露地ピーマン）：17日
- ・日之影町1名（希望品目：レモン及び菊芋等）：17日
- ・五ヶ瀬町3名（希望品目：1名が促成いちご、2名が茶）：1日、11日、16日

相談会では、農地等の就農準備状況の聞き取りや経営収支計画の作成支援、中古資材活用に向けた現地調査を行いました。

今後も関係機関等と連携して、相談者の意向も踏まえた伴奏支援を行っていきます。



【日之影町就農相談会】

5 【高千穂町、五ヶ瀬町】イタリアンライグラス立毛間播種ほ場の生育調査

8日、ドローンでWCS立毛間播種を行ったイタリアンライグラスほ場の生育調査を行いました。9月に管内4ほ場（高千穂町3ほ場、五ヶ瀬町1ほ場）で播種を行いましたが、2ほ場で出穂を確認し、1番草の刈取を行っています。1番草の草丈は平均83cm、1反あたりの推定収量は現物で2.3tとなりました。

自給飼料の確保は、畜産経営において重要な部分であり、安定した栽培技術や品種の選定がカギとなります。

今後も引き続き、再生草及びその他ほ場の生育観測を続け、管内での技術定着を図ってまいります。



【ドローンでWCS立毛間播種を実施したほ場の生育調査】

6 【全域】定期巡回の実施

10日、19日の2日間、重点対象農家3戸の巡回指導を実施しました。子牛の発育状況確認及び母牛の繁殖検診を実施し、生産者と共有することで、現状把握が出来るようサポートを行いました。また、12月に入り寒さも本格的になってきたため、子牛の防寒設備の確認や対策、寒冷時期の増給を助言し、この時期の摩耗を防ぐよう指導を行いました。

引き続き、季節や状況に応じた指導を心掛けて活動して参ります。



【生産者への結果共有】

7 【管内】高千穂高校への茶の授業を実施

8日、普及センターにおいて、高千穂高校生産流通科で茶を専攻する2年生2名を対象に「茶の授業」を実施しました。同校からの依頼により、4月に引き続き2回目ですが、今回は、茶に関する種類や製茶の基礎について説明し、その後、西臼杵地域で作られている3茶種（釜炒り茶、紅茶、烏龍茶）の試飲を行いました。

高校生からは、『西臼杵地域で釜炒り茶が作られていることは知っていたが、烏龍茶、紅茶を作っていることは知らなかった。とても美味しかった。烏龍茶を製造してみたい。』などの感想がありました。



【高校生へ茶の授業】

8 【全域】西臼杵烏龍茶研究会の研修会が開催

15日、普及センターにおいて、西臼杵烏龍茶研究会の研修会が開催され、生産者、関係者含めて22名が参加しました。

総合農業試験場茶業支場の担当者が講師となり、試験場の研究成果として、当地域でも取組のあるGABA烏龍茶の嗜好性や、新品種の育種についての説明と試飲があり、その後、意見交換を行いました。普及センターからは、11月に道の駅高千穂での販売イベントで実施した茶の嗜好性に関する消費者アンケートの結果について報告しました。

生産者からは、様々な意見と率直な感想が出されており、有意義な研修になったとの声が多く聞かれました。

今後も、先進的な生産者の期待に応えられるよう、引き続き支援を行っていきます。



【試験場の新品種と烏龍茶研究会の各茶を試飲】

9 【高千穂町・日之影町】きんかん全戸巡回の実施

1日（日之影町）と、4日（高千穂町）の2日間、関係者と共にきんかん生産者の全戸巡回を行いました。生育状況は着色期にあり、冷え込みとともに順調に着色が進んでいます。普及センターからは、加温機の稼働が始まる前に、修理や事前の稼働チェックをするように呼びかけを行いました。また、加温開始により、ハダニの活動が活発化するため早期発見に努めるよう見回チェックと適期防除について指導しました。

来月の出荷開始に向け、単価の高い出荷初期により多く出荷量を確保できるよう、適切な栽培管理について支援していきます。



【色づき始めるきんかん】

10 【管内】高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第9回）の開催

19日、普及センターにおいて標記果樹部会が開催され、くりの販売実績の総括と、ゆずの出荷状況について報告が行われました。来月に控えた完熟きんかんの解禁に向け、円滑な出荷体制を整えるための調査日程を調整し、関係機関が一体となって取り組むことを確認しました。

また、管内の果樹振興の将来像を描く「果樹産地構造改革計画」についても協議しました。

今後、内容をさらに精査し、来月には生産者の皆様を交えた検討委員会を開催する予定です。



【果樹技術員会】

11 【管内】高千穂地区営農振興協議会花き部会（第9回）の開催

19日、普及センターにおいて、標記花き部会が開催され、ランキュラスやスイートピーの生育及び出荷状況を共有しました。また、展示ほの進捗報告や1月末に宮崎市で開催される「花の祭典」に関する情報提供などを行いました。

今後も関係機関・団体と連携し、高千穂地区における花き振興に取り組んでいきます。



【花き技術員会】

12 【高千穂町・日之影町】きんかんの果実分析を実施

23日、普及センターにおいて、関係者7名で管内のきんかん44園地分の果実分析を行いました。

過去5カ年と比較してほぼ平均並みで、一部で「す上がり」も見られましたが、昨年と比較すると発生程度は抑えられています。これは、夏の厳しい暑さに対して、生産者が懸命に高温対策に取り組まれた成果といえます。結果については個別に返却を行い、糖度や酸度を見ながら指導を行いました。

今後、きんかんの解禁日に向けて関係機関・団体と連携し支援していきます。



【糖度や酸度を分析】

13 【管内】高千穂地区営農振興協議会花き部会・野菜部会合同先進事例調査

11日、花き・野菜技術員会11名で、福岡県朝倉市で先進地事例調査を行いました。

午前中は、福岡県朝倉普及指導センター職員の案内で、コチョウラン農家及びいちご農家を訪問し、福岡県の工業試験場が開発した「IoT導入支援キット」の視察を行いました。このIoT支援キットは、普及指導センターが農業分野でのスマート農業のスタートアップ機器として検討しているもので、分野間の連携が図られていました。

午後には、朝倉普及指導センターで、互いの産地における花き振興などについて、積極的に意見交換を行いました。

今回の視察で学んだ最新技術など、今後の地域農業の推進に活用していきます。



【コチョウラン農家視察】

プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 【五ヶ瀬町】五ヶ瀬町ぶどう生産組合の出荷反省会が開催

9日、五ヶ瀬ワイナリーにおいて、標記組合の出荷反省会が行われ、生産者16名が参加しました。

今年の実績を振り返るとともに、次期作に向けた活発な意見交換が行われました。

普及センターからは、病虫害対策について説明し、次期作に向けた栽培暦を配布しました。また、生産者から品種別の栽培暦を求める新たな要望があることから、今後、技術員会で検討しながら対応していきます。

終了後には、綾町の香月ワインズ代表をお招きし、同町でのワイン生産の取組について講演があり、生産者は熱心に聞き入っていました。

来年も安定してワイナリーの原料のぶどうが収穫できるよう支援していきます。



【ぶどう生産組合出荷反省会】

2 【高千穂町・五ヶ瀬町】農業法人の巡回

8日に高千穂町2件、24日に五ヶ瀬町1件の農業法人を支庁農政水産課と各町担当者と共に巡回し、農業法人の取組状況や課題等を聞き取りました。

そのうち、有機栽培で農作物を生産している五ヶ瀬町の法人では、慣行栽培とは異なる課題等もあるため、今後、関係機関と連携して活動の支援を行っていきます。